



YMCA News



2024年4月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒320-0041
宇都宮市松原2-7-42
Tel 028-624-2546
Fax 028-624-2489
www.tochigiyymca.org
発行人 / 塩澤 達俊
編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA



表紙の写真から：2023 北関東 YMCA 赤城プレキャンプにて。新しいリーダーとの出会いが待っています。

新年度です。この4月から新たにご一緒する皆さまも、引き続きご一緒の皆さまも、どうぞよろしくお願いいたします。

2024年4月からはじまる《とちぎYMCA》は、みんながより生き活きと、より楽しく、より活発に活動できるよう、すべてのアクションプランに共通する大方針（方針の方針）を据えました。わたしたちは、いまこそ変化と革新を恐れなくて、のびのびとチャレンジして試みたり、投企したりできるように行動したい!と願い、①「ものごとの見方や考え方」と②「活動のフィールド」と③「時間軸」にフォーカスしたその方針をご紹介します。

まず一つめは、①「リフレーミング!」：これまでの枠組みに別の枠組を与えて全体を新たに見直すことによるものごとの見方や考え方を開放! 二つめは②「ローカル × グローバル」：世界をみつめて地域に生きることで拡がりや奥行きを意識してデフォルトの空間からの開放! さらに三つめとして◇「とちぎYMCA 中期計画 8 か年（革新飛躍!）× Vision2030（世界のYMCA との歩み）」という未来志向の時間の流れを意識して今とこれまでの意味を変えることができる時間からの開放!があります。

なにかがはじまるスタートの4月に、なにかがより大きく動いてゆくような気がしませんか? 2024年4月のスタートは、いつもと同じ新年度のはじまりであると同時に、少し特別なことのはじまる一年の始まりにしたいですね。

そこで、きょうは大方針の中のもっともインパクトのある「リフレーミング!」の達人をご紹介します。

イエス・キリストはその《愛》と奉仕の生き方をわたしたちに示されたことで、わたしたちが做すべき「先生」なわけですが、「リフレーミング!」の達人でもあります。聖書にはこんな箇所があります。

「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。」（マタイによる福音書）

ちょっと目には、負け惜しみ交じりにものの言い方を変えているように見えるかもしれませんが。

「リフレーミング」の基本は、古い枠組みに、他の枠組を与え、全体を見直すことにあります。例としてコップの水が「もう半分しかない」とみるか「まだ半分もある」とみるかの例があげられます。実態は変わらなくとも「リフレーミング」してみると世界の見え方が変わるので、その後の行動が変わり、その結果として状況や世界が変わりまじめるところに「リフレーミング」のインパクトがあるのです。

おなじように時間軸を未来に進めて《希望》を掲げてみると、変えられないはずの過去でさえ、その「意味付け」が上書きされ、いま目の前に広がっている状況（たとえ困難や課題であっても）の見え方が変わって、その後の未来を確実によりよく変えてゆくことが可能となるのです。

まずは①「リフレーミング」の手本はイエス・キリストにあり!というお話でした。ぜひ!2024年4月からのご一緒を、よろしくお願いいたします。

とちぎYMCA 総主事
塩澤 達俊

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2024 年度とちぎYMCA年間聖句

《善いサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章30節~37節



認定こども園 さくらんぼ幼稚園

「 2024年度が始まりました! 」

4月1日より2024年度が始まりました。昨年創立70周年を迎えたさくらんぼ幼稚園。71年目の新学期。新しいお友だちがたくさん入園してくれました。初めての幼稚園、初めての先生・お友だち。緊張の毎日だとは思いますが、例年私たち保育者が驚くような適応力を発揮して幼稚園生活を楽しめるようになっていく子どもたちです。



「ぼくらは ゆかいなさくらんぼ ともだちいっぱい作るんだ
どんどん どんどん 作るんだ oh!
さくらんぼのマーチ たのしいな さあ、みんなでてをつなごう」

さくらんぼ幼稚園園歌 さくらんぼのマーチの一節です♪たくさん泣いて、たくさん笑って、弾けるような笑顔で園生活を送れるよう全職員力を合わせて頑張ります。

4月から1年生になった卒園生のみんなにも、小学校で手をつないで笑い合えるお友だちがたくさんできますように。

ようとう保育園

「 ひなまつり会・会食 」



3月1日にひなまつり会が行われました。ようとう保育園のひろばの前には大きな雛人形が飾られ、子どもたちは「お雛様かわいいね」とうっとりしたり「これはなんだろう?」と飾り物に疑問を抱いたりしていました。ひなまつり会では、「ひなまつりって何?」「ひなまつりって何をやる日?」という話を聞き、ひなあられやハマグリ汁、菱餅の由来を知り、「そうだったんだ!!」と驚く子どもたち。

また、各々制作した作品の発表やクイズ、うれしいひなまつりの歌を歌いお祝いしました。

昼食は幼児組で今年度初めての縦割り会食を行いました。ひなまつり特別メニューは、ちらし寿司に花ふが入ったすまし汁、子どもたちが大好きな唐揚げにイチゴ。彩り鮮やかな献立は会を一層盛り上げてくれました。「おいしいね!」とたくさんおかわりをして食べていました。異年齢児で交流しながら食べる食事に、いつもと違った雰囲気のか会話も弾み「楽しいね」「また一緒に食べようね」ととても素敵な会となりました。

担当 高松 ひとみ・阿久津 真里



親と子どもの居場所 めいめい

「 宇都宮ブリッツェンの選手訪問 」



2月21日に宇都宮ブリッツェンの沢田時選手と本多晴飛選手が遊びに来てくださいました。初めてお会いする選手にみんな最初は緊張気味に自己紹介をしていました。自転車体験の時間では普段乗っている自転車とは違い、競技で使われている自転車に乗せていただきました。初めて乗るタイプの自転車に最初ドキドキしながら乗っていましたが選手が優しく教えてください、体験コーナーには子どもたちの列ができていました。

また、選手の一人が子どもたちにマジックを披露してくれました。子どもたちが普段から遊んでいるトランプでマジックをしていることに驚いており、何か仕掛けがないか何度もトランプをチェックしていました。「なんでできるの?」「すごい!もう一回やって」とお願いし、気づくと選手の周りにたくさん子どもたちが集まっていました。最後に選手解説によるレール映像の鑑賞会を行いました。隣に座っている選手が映像の中にでてくるとみんなから「選手が映っている!」「今ゴールした!」と話していました。表彰台に上がる選手を見て、拍手をしていました。

宇都宮ブリッツェンの選手と交流することができ、子どもたちが自転車に以前よりも興味を持つことが出来ました。

袖山 千歳



ひがしやまアトムクラブ

「 旅立つ卒業生に向けて 」



3月に入りもう間もなく卒業のシーズンです。ひがしやまアトムクラブでは季節・一時・通常利用の男女合わせて6名の6年生が旅立ちます。皆それぞれの個性を生かしながら下級生から憧れる良きリーダーとして活躍してくれました。男女学年を問わず優しく接してくれた

子、やんちゃな下級生にスタッフに代わりビシッ!と注意してくれた子、新米スタッフに色々教え過ぎてベテランスタッフに注意された子...。その時々を昨日の事のように思い出します。学年が上がるごとに本当の感情を口にする事が少なくなる子どもたち。心の内は計り知れません。日々共に過ごし寄り添う機会は無くなってしまいますが、経験する全ての事が成長の糧になると信じて、送り出したいと思います。

主任支援員 田代みつ子



子どもの家だより~

清原東小子どもの家(イーストクラブ)

「 新たな春を迎えて 」



気が付けばあっという間に一年が経ち、新1年生を迎える時期が近づいてきました。始めは不慣れで人見知りだった1年生ですが、今ではお友だちと元気いっぱい遊び、お互いを尊重することを学ぶことができました。ここ最近では寒さの続く過ごしづらい日々ですが、子どもたちは気にも留めず、率先して外遊びを

しています。最初はできなかった縄跳びの二重跳びや鉄棒の逆上がりも全力で取り組み、今ではコツを教え合う良い学びの場となっています。そんな子どもたちの姿は本当に微笑ましいものです。

支援員一同、より一層成長した子どもたちとともに、新1年生を温かく迎え入れたいと思っています。

主任支援員 沼尾 由紀子

宇都宮市青少年活動センター(トライ東)

「 所長・所長補佐 就任のご挨拶 」



4月から宇都宮市青少年活動センター(トライ東)所長に就任いたしました、川口夏菜子(かわぐちなこ)と申します。私はトライ東でお仕事を始めてから3年が経ちました。

トライ東の1日を思い返すと、朝の開館に合わせて一般利用の皆さまの元気なお声が聞こえ、午後は学校終わりの小学生が駄菓子を買いにやってくる、夜間は中高生がバスケやバレーで盛り上がり、プログラムを企画していたりと、様々な年代の方が集まるこの施設での毎日は新しい発見の連続です。4月からは、新たな気持ちでトライ東を支えるお仕事ができることを、とても楽しみにしております。まだまだ未熟ではありますが、青少年の皆さま、地域の皆さまが生き活きと活動できるセンターの運営を目指して精進いたします。これまでと同様に皆さまのご協力・ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

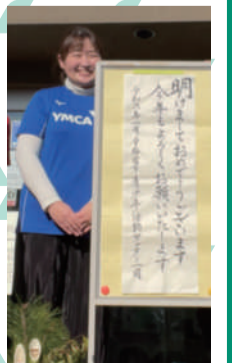
所長 川口 夏菜子

所長補佐に就任しました、森希実(もりのぞみ)と申します。私は、トライ東に所属して4月で7年目を迎えました。

トライ東は魅力がたくさん詰まった施設です。色々なことに挑戦できる楽しい場所です!この魅力をもっとたくさんの方々知ってもらえるよう、発信してまいります。

微力ではございますが、職員一丸となって皆さまが安心安全にご利用いただける施設を目指すとともに、様々な方の『居場所』になれるよう、そして地域の皆さまからもさらに愛される施設になれるよう日々努力いたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



所長補佐 森 希実

とちぎ YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2023 招待デイキャンプ 「東武動物公園」に行っていました!



3月8日、とちぎYMCA インターナショナル・チャリティーラン 2023 招待デイキャンプ「東武動物公園」が実施されました。参加者 26 名、YMCA リーダー 2 名・スタッフ 2 名の総勢 30 名での活動でした。

参加者は、ホワイトタイガーの迫力に驚きながらも、その美しい姿に魅了されていました。その他にも、キリンやゾウなどさまざまな動物たちを見て、皆さん大満足の表情でした。

また、遊園地ではファミリーコースターや冒険カート、スカイフィッシュなどのアトラクションに乗り、スリル満点の体験を楽しんだり、土産物を購入したりと、思い思いに楽しんでいました。天候の心配もありましたが、晴れ間も見えて楽しい一日になりました。

実施にあたり、このプログラムを支援して下さるチャリティーラン関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

菅井 宏益



とちぎ YMCA 大会 2023 を開催いたしました!

2024年3月3日(日)、「とちぎYMCA大会2023」が開催されました。とちぎYMCA大会とは、とちぎYMCAに関わる全ての皆さまや、これから関わるあらゆる方々と一緒に、YMCAの働きを通して未来に期待していくための大会です。今回のテーマは「Reframe」。とちぎYMCA50周年に向けて、どのようなYMCAにしていきたいかをレイパーソンの皆さまと共に考えていく大会になりました。

今回の大会では、
session①Vision2030 ってなに?! (日本YMCA同盟 杉野 歌子 氏)
session②Reframe -とちぎYMCA- (とちぎYMCA 塩澤 達俊 氏)

の2部構成で、会員の方だけでなく、とちぎYMCAの各事業所につながる多くの方々と共に、とちぎYMCA50周年への歩みを進める第一歩を迎えることが出来ました。ご参加いただいた皆様には、ご自身の思う「YMCAとは」を語っていただき、その中で世界のYMCAが進めているVision2030と、とちぎYMCA50周年に向けての歩みを確かなものにして頂く機会になったのではないかと思います。

これからもとちぎYMCAは、皆さまとのつながりを大切に共に歩んでまいります。
ご参加いただきありがとうございました。



5月開講予定!

YMCA で始めてみよう 英語がきっと好きになる!

2024年度より英会話を始めてみませんか?

YMCA イングリッシュは年齢・習得度から細かく7つのレベルに分かれています。初級は外国人講師と listen & repeat や簡単な日常会話を繰り返しながら自然と英語に慣れるよう楽しみながら学習していきます。中級以上は日本人講師と外国人講師のハイブリッドレッスンとなり、日本人講師からは、読む・書くを中心に、外国人講師からは聞く・話すを中心に学び、総合的な英語力へとつなげていきます。英検などの資格にもチャレンジしながら自信をつけていきます。YMCA イングリッシュのミッションである「あらゆる人々と、共に生きる多文化共生社会の実現に寄与」に沿った特別プログラムも充実しています!



送迎付きコース

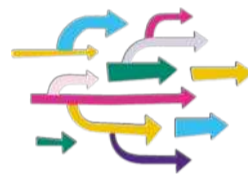
- ①【新小学1・2年生(初心者)コース】
 - 月曜日 15:30 ~ 16:30
 - 火曜日 15:30 ~ 16:30
 - 木曜日 15:45 ~ 16:45
- ②【新小学3・4年生(初心者)コース】
 - 水曜日 15:30 ~ 16:30

◇場所

宇都宮東YMCA (宇都宮市峰 4-21-14)
2024年7月より、新館(宇都宮市陽東 4-18-30)に移転予定です。

◇定員 8名
最少催行人数 6名

▼詳細はコチラ!



YMCAが実現したい世の中の姿
互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある
豊かな社会を創る。



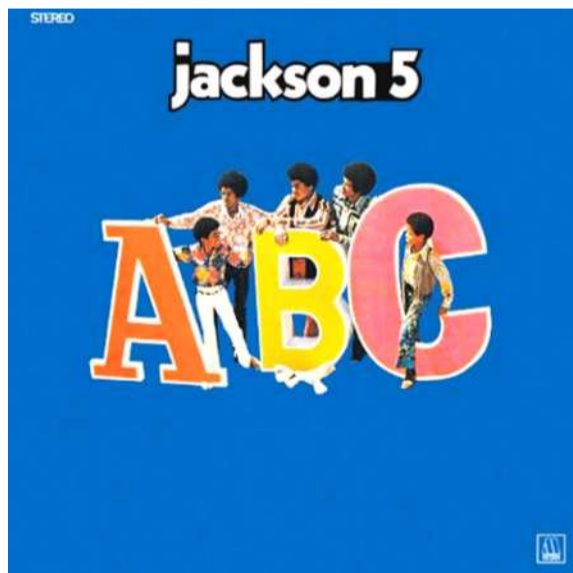
月刊#(ハッシュタグ)



第34回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総主事
塩澤 達俊

#ジャクソン5 #マイケルジャクソン #ヒジヨーニ、キビシーツ



楽曲『ABC』はマイケル・ジャクソン(もう知らない人のほうが多いと思います...)がセンターをつとめた伝説的ソウル・グループ《ジャクソン5》が1970年に放ったシングル・レコードです。この曲は子どもでも口ずさめる明るい曲調で大ヒットとなり、現在でもポップスのスタンダード・ナンバーとして親しまれています。
ところで、2024年のとちぎYMCAは「ABC」を宣言します!
ABCとは「A」：あたりま

えのことを、「B」：バカにしないで、「C」：ちゃんとやる!の頭文字です。これは「ヒジヨーニ、キビシーツ! (非常に、厳しい)」ことなので公言するにはばかれたのですが、とちぎYMCAは敢えてコレを宣言して居住まいを正して参りたいと思っています。

いろいろなことが人それぞれになって、「あたりまえ」の基準が曖昧になっている今日です。それでも、なにかをしてもらったら「ありがとう」のお礼の言葉を言う、一日のはじめに「おはようございます」人と会ったら「こんにちは」の挨拶をするなど、大事なことは変わらず「あたりまえ」にあると思います。

そこでとちぎYMCAは、人としての大事な「あたりまえ」と、YMCAがYMCAであるならば実践して「あたりまえ」の事を、実行してゆきたいと思っています。

YMCAなら、イエス・キリストの愛と奉仕の行いに倣って「あたりまえ」、困難な中にある人がいれば助けていっしょに歩いて「あたりまえ」、すべての世代のひとたちの全人的成長を願って「あたりまえ」、相手の人格を手段としてではなく目的として大切に扱って「あたりまえ」などなど...。「あたりまえ」を「A・B・C(あたりまえのことを、バカにしないで、ちゃんとおこなう!)」してゆくことは、分かっているにもかかわらず非常に難しいことではありますが、ここにがんばって宣言をいたしますので、みなさまの叱咤と激励を2024年度もよろしくお願いたします!

高校生ボランティアグループ「つぼみ」



つぼみ通信 vol.12



3月つぼみ食堂の様子



3月16日(土)につぼみ食堂を宇都宮市青少年活動センター(トライ東)で開催しました!

今回のメニューはチャーハン、コンソメスープ、フルーツゼリーでした。開催前の時間に小学生の子どもたちが「つぼみ食堂まだかなあ〜」や、「スタンプカード持ってきたよ!」と声をかけてくれたことがとても嬉しかったです。“地域のみんなの居場所になること”を目的としているつぼみ食堂が、少しずつ皆さんに認識されてきたんだな、と感じることが出来ました。

つぼみ食堂では来てくださった方に一言メッセージを書いていただいています!「美味しかったです」「楽しかったです」という感想やリクエストメニューなどたくさんのメッセージを頂いたので、今後に向けて励みとなりました。

2024年度も(つぼみ食堂)を開催予定です。今後更にパワーアップしたつぼみ食堂をお届け出来るように頑張ります。